作成日:平成20年7月11日 元子。《左曲声》 1947年1

					上区基格基等业机夫			
評価対	対象年度: 平	<mark>-成</mark> 1	9 <mark>年度</mark>	T132 2 0 4	F	管理	1-6-1-4	
事務事	事業名 市民	部等名	教育部					
予算	会 計		科目コード	予算細目名	市民プール管理事業	課 等 名	中央公民館	
科目	一般		01-100602003	細々目名		係 等 名	社会体育担当	
政策 体系	基本目標	1	豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり					
	施策	6	地域スポーツ、生涯スポーツの振興					
	基本事業名	1	スポーツ.レクリエーション施設整備と活用					

		施設の円滑な運営						
事	事業概要							
尹	尾施内容							
根拠法令等		コミュニティスポーツプラザ条例			事業の種類	□維持管理	理事業 □義務的事業	€ ☑その他事業
依拠法マ寺		コーユーティスが、ラクララ系内			評価区分	□事前評値	西 🗹 事後評価	
重点事業区分		□重点事業	事業実施期間	☑縂	継続 □単年	度 斯	間限定(年度	~ 年度)
1 報酬			円 11	1 消耗品費	2	24,563,866 円	15 工事請負費	円
決 算 額	7 賃金		61,905 円 12	2 役務費		162,788 円	18 備品購入費	円
額	8 報償費		円 13	3 委託料	1	1,977,122 円	19 負担金補助及び交付金	円
HA	- 大弗 - 大田以五			/ + ID /// D =	* 1° — 145 163	0 000 100 -	A 11	

合 計

39,387,807 円

2,622,126 円

円 14 使用料及び手数料

1 . 事務事業の現状把握 (Do)

9 旅費

(1)事務事業の目的と手段							
・・ 対象(誰を、何を)							
市民 他市町村住民							
手段 (事業の具体的な内容、手順等)		活動指	標名	・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標			
水泳教室の開催		指標	名称	教室開催数			
総合型地域スポーツクラブでの各種事業 広報活動		(1)	式	回			
公報/泊割 プールの効用を広報する		指標	名称				
7 7 O TO TO TEXT OF THE TEXT O		(2)	式				
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)		成果指	標名	・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標			
利用者に快適な利用環境を提供する。		指標	名称	受講者数			
		(1)	式	人			
	-	指標	名称				
		(2)	式				
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか							
市民の健康づくりと競技力向上							

(2)指標・総事業費の推移

_	(-) an (w) we a sice as the P								
		区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
		活動指標(1)					155	170	
指		活動指標(2)							
標		成果指標(1)	人				4,320	6,000	
		成果指標(2)							
		財国・県支出金	千円						
	事	源地方債	千円						
投	業費	内との他	千円				7,946	7,703	
	費	一般財源	千円				31,442	35,748	
入		事業費計(A)	千円				39,388	43,451	
_	人	職員数	人						
量	件	人件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	
	費	人件費計 (B)	千円			0	0	0	
		総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	39,388	43,451	

(3)事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?

プールの効用が理解されてきている

この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?

温度の設定や利用時間の変更など要望がある

2.事務事業の評価 (Check)

	[目的妥当性評価]							
	施策体系との整合性	市が行なう必要性	対象・意図の妥当性					
	☑有 【理由 】	☑有 【理由 】	☑有 【理由 】					
	□無 【理由 , 改革改善案へ】	□無 【理由 , 改革改善案へ】	□無 【理由 , 改革改善案へ】					
	年間通じた健康づくりに最適である	公共性があり市が実施すべきである	対象、意図に妥当性がある					
	D = - () A H							
評	成果の向上余地	事業の中止・廃止による影響	類似事業との統廃合の可能性					
-	図有 【理由 、 改革改善案へ】		□ 有 【理由 , 改革改善案へ】					
価	□無 【理由 】	□無 【理由 , 改革改善案へ】	□無 【理由 】					
結								
744	ション・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	似结束抗	化完整理书制度大定恢复完					
果	利用者増加に向け最大限の努力が必要	継続実施	指定管理者制度を実施予定					
	「加索	」 性評価 <u>]</u>	[公平性評価]					
	事業費の削減余地	大件費の削減余地	<u>ムーほ所に</u>					
	□有 【理由 , 改革改善案へ】		□有 【理由 , 改革改善案へ】					
	☑無 【理由 】	□無 【理由 】	□ 「					
	事業費の維持	代行員をNPOに委託する	受益者負担は維持している					
3 .	評価結果の総括と今後の方向性							
(1)	1 次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振	り返り、反省点)					
	目的妥当性 🔽 適切 🔲 🗒	直し余地がある						
	= - " = -	古し会地がある						
		直し余地がある 利用有数を更に	引き上げるために努力する					
	公平性 ☑ 適切 □ 見	直し余地がある						
(3)	今後の事業の方向性		(5)改革・改善による期待成果					
	□廃止 □休止	■事業の統廃合 ■目的再設定	廃止・休止の場合は記入不要					
	☑事業のやり方改善(有効性改善)	☑事業のやり方改善(効率性改善)	コスト					
	□事業のやり方改善(公平性改善)	□現状維持(従来の通りで特に改革改善しな	(い) 削減 維持 増加					
(4)	改革改善案の概要		古					
			成維持果					
水泳	教室の増加とイベント等の実施		(低下)					
(6)	改革改善を実現する上での解決すべき説	題と解決策						
7k	泳指導員の確保と広報の充実							
۱,								
1	事務事業の2次評価結果 □ 2	次評価対象 2次評価対象外						
_	→ の → か → か → か → か → か → 2 次評価者としての評価結果	次評価対象 <u>ユンス</u> 深評価対象外 (2) 評価結果の 権	地と 理由					
(')			()だし、柱田					
		L直し余地がある						
		.直∪余地がある .直∪余地がある						
		.直∪赤地がある .直し余地がある						
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案)		(4)改革・改善による期待成果					
(0)	<mark>→ 接切事業の分別性(以準以音楽)</mark> □ 廃止 □ 休止 □ 目的詞	9設定 □事業の統廃合	廃止・休止の場合は記入不要					
	□ 事業のやり方改善(有効性改善)	#設定 □ 事業の就廃口 □ 事業のやり方改善(効率性改善)	コスト					
	□ 事業のやりが改善(有効性はな善) □ 事業のとりが改善(効率性はな善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 現状維持(従来の通りで特に改革改善しない) □ 削減 維持 増加							
		□ 357/7/版刊(此外の通りで刊に以上以目の						
			/					
			果低下					
			1100 1					
(5)	その他、2次評価会議で指摘された事項							
(0)								